

muhi

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

吸血害虫忌避剤

医薬品の虫よけ剤

ムヒの虫よけムシパール[®]α30

販売名：ムヒの虫よけムシパールα30

感染症予防という観点から虫よけ剤の使用をおすすめします

近年、アジア太平洋地域、中央・南アメリカ、アフリカなどの「熱帯・亜熱帯地域」において、「ジカ熱」や「デング熱」などの蚊が媒介する感染症が問題となっています。また、国内においても「つつが虫病」、「重症熱性血小板減少症候群：SFTS」といった、吸血害虫が媒介する感染症が確認されています。

ムヒの虫よけムシパールα30の特長

- 虫よけ成分ディートが最高濃度※「30%」配合された医薬品の虫よけ剤です。
- 虫よけ効果がしっかり長時間「5～8時間」持続し、蚊、アブ、ブユ(ブヨ)などの他、マダニ、ツツガムシに対しても効果があります。
- 「ジカ熱」「デング熱」「つつが虫病」「重症熱性血小板減少症候群：SFTS」の感染予防に役立ちます。
- 吸い込みにくいノンガススプレータイプです。
- 外出や旅行、アウトドアなど、携帯に便利な容器です。飛行機にも持ち込み可能です。

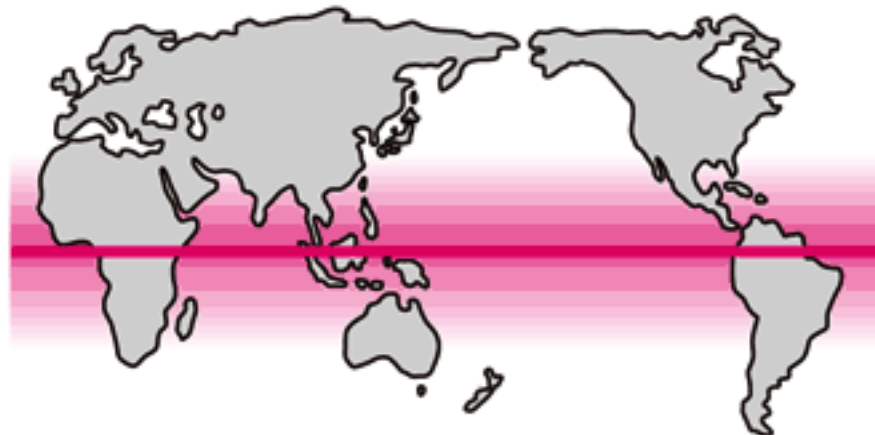
※ムシパールシリーズ中

<こんな時にお使いください>

本格的なアウトドアに
林業・農業にも



吸血害虫による感染症流行地域
(海外・国内)へ旅行される方に



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと副作用が起こりやすくなります)

1. 次の部位には使用しないでください
創傷面、目の周囲、粘膜等。

相談すること



1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1)医師の治療を受けている人。
(2)薬などによりアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
(3)湿疹やただれのある人。
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この説明文書をもって医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ等

効 能

蚊、ブユ(ブヨ)、アブ、ノミ、イエダニ、マダニ、サシバエ、トコジラミ(ナンキンムシ)、ツツガムシの忌避

成分とそのはたらき 有効成分(100mL中)

成 分	分量	は た ら き
ディート	30.0g	吸血害虫を忌避します。

添加物としてエタノール、香料を含有します。

用法・用量

- 1. 蚊、ブユ(ブヨ)、アブ、ノミ、イエダニ、マダニ、サシバエ、トコジラミ（ナンキンムシ）の忌避のために使用する場合
適量を肌の露出面にまんべんなくスプレーしてください。
顔、首筋には、適量を手のひらに一度スプレーしてから肌に塗布してください。
- 2. ツツガムシの忌避のために使用する場合
適量を肌の露出面及び履物やズボンの裾等にまんべんなくスプレーしてください。
顔、首筋には、適量を手のひらに一度スプレーしてから肌に塗布してください。

＜用法・用量に関する注意＞

- (1)本品はディートの濃度が高いので、12歳未満の小児には使用しないでください。
- (2)本剤は吸血害虫に対する忌避剤であって、疾病の治療薬ではありません。
- (3)本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。
- (4)定められた用法・用量を厳守してください。
- (5)漫然とした使用をさけ、蚊、ブユ(ブヨ)等が多い戸外での使用等、必要な場合にのみ使用してください。
- (6)目に入ったり、飲んだり、なめたり、吸い込んだりすることがないようにし、塗布した手で目をこすらないでください。
- (7)万一目に入った場合には、すぐに大量の水又はぬるま湯でよく洗い流してください。また、具合が悪くなる等の症状が現れた場合には、直ちに、本剤にディートとエタノールが含まれていることを医師に告げて診療を受けてください。
- (8)目や口の周囲、粘膜や傷口など肌の弱い部分には使用しないでください。誤ってかかった場合は、直ちに水でよく洗ってください。
- (9)万一肌に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。
- (10)本品の1回使用による忌避効果の持続時間は、概ね5～8時間です。
- (11)本品を噴霧又は塗布した後は、経過時間や使用時の使用者の発汗等の状況を踏まえて、適宜、本品を再度使用してください。
- (12)ツツガムシの忌避に関する注意事項
 - ①薬剤だけに頼らず、シャツ、ズボン、長靴などを使用し、肌を露出しないようにしてください。
 - ②ツツガムシは見えにくいので、生息していそうな場所に立ち入る前に塗布してください。
- (13)シャツ、ズボン等の衣服に噴霧する場合、繊維の種類によっては本剤により変質する場合があります。合成繊維は変質しやすいので注意してください。
- (14)ストッキングなどの上に直接噴霧しないでください。（生地が傷む場合があります。）

使用方法

- ・初めに白いプッシュボタンを5～6回程度「から押し」してから使用してください。
- ・肌などから約10cm離し、塗り残しのないようにむらなく噴霧してください。
- ・容器を逆さにしても噴霧できます。
- ・中身が少なくなった時は、容器を逆さにして使用すると液が出やすくなります。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4)次の物には付着させないでください。（変質する場合があります。）
食物、食器、玩具、床や家具などの塗装面、メガネ、時計、アクセサリー類、プラスチック類、化繊製品、皮革製品、マニキュア等。
- (5)火気に近づけないでください。
- (6)使用期限（ケース底面及び容器底面に西暦年と月を記載）をすぎた製品は使用しないでください。
使用期限内であっても、品質保持の点から開封後はなるべく早く使用してください。

吸血害虫が媒介する主な感染症

※これらはいずれも届出が必要な4類感染症に指定されています。疑わしい症状があらわれたら、早めに医師に相談してください。

病 名	媒介する吸血害虫	感染症状
デング熱 (デングウイルス)	蚊	急激な発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹があらわれる。一部において重症で致死的な「デング出血熱」となり、血漿漏出と出血傾向に見舞われることがある。
ジカ熱 (ジカウイルス)	蚊	軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛があらわれる。症状としては軽症だが、胎児の小頭症との関連が示唆されるため、母子感染（胎内感染）、輸血、性行為による感染に注意が必要である。
重症熱性血小板減少症候群：SFTS (SFTS ウイルス)	マダニ	発熱、倦怠感、食欲低下、消化器症状、リンパ節腫脹、出血症状が起こり、重症化すると死亡することがある。
つつが虫病 (病原リケッチア)	ツツガムシ	倦怠感、発熱、全身にかゆみのないブツブツがあらわれる。適切な治療をしないと重症化することがある。

お客様相談窓口：株式会社 池田模範堂 〒930-0394 富山県中新川郡上市町神田16番地
☎ 076-472-0911（電話受付時間：月～金（祝日を除く）9：00～17：00）